

さよし



廿日市市
地域支援員だより

2022

春号



地域支援員
ホームページ、
始めます。

地域支援員

それは、地域情報を発信したり、一緒に地域おこし活動をしたり、地域内外の交流をはかったりしながら、地域の力を強くするために廿日市市の職員として1年単位で任用された人のこと。

任期は最長で3年間。その限られた時間の中で、何をやっているのか、佐伯や吉和でどんな動きがあるのかを知ってもらいたくて、この冊子を作りました。年に4回、お届けします。

「玖島花咲く館」オープン!



平成27年(2015年)に地区の皆さんに惜しまれながらその歴史を閉じた玖島小学校。その後、有志の皆さんによってカフェや野菜市などに利用されていましたが、4月1日から玖島の里づくり交流拠点施設「玖島花咲く館」として新たにスタートすることになりました。

「玖島花咲く館」の名称は玖島小学校の校歌の冒頭の歌詞から名付けられ、その名のとおり、たくさんのお花を地区の皆さんで育て、楽しめるような施設にしたい、そしてそこを訪れる人自身も花のように生き生きと過ごせる場所にしたいと考えています。

新施設では、従来どおりの体育館やグラウンドの貸出しに加え、校舎一階部分を、玖島地区内外の皆さんが自由に集えるスペースとして活用します。これまで月に二回だったカフェや野菜市も営業日を増やし日常的に使っていただける場所になっています。

さらに、漬物やジャムの加工所を新設。地元の食材を使って地域の特産品を自分たちで創り出すことも可能になりました。多目的スペースでは、仲間と集まってわいわいがやがや、自由にお過ごしください。玖島発のイベント企画も今後募集していく予定です。

歴史展示室「くじま知し」ルーム」も再整備。玖島や佐伯地域のこれまでを知ることが、これからを考えるきっかけになるかもしれません。

まだまだ試行錯誤の「玖島花咲く館」かつての小学校のように、訪れる人が元気になる場所を、一緒につくっていきませんか。

(義志 裕子)

※施設の開館時間 ☎ 78-2755

9:00～17:00

休館日 毎週火・水、12/29、1/3

カフェ玖島学園

営業日 毎週金・土・日・月

11:00～14:00

くじまルシェ

営業日 毎週金・土・日・月

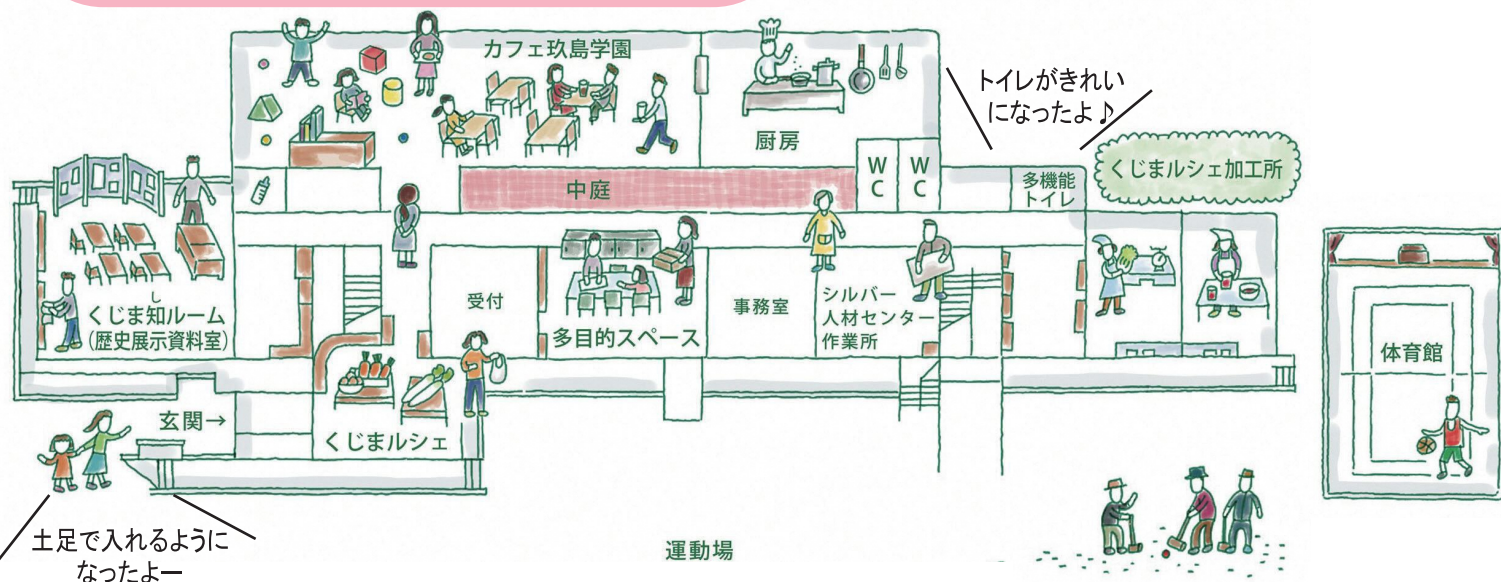
10:00～13:00

体育館・グラウンド

9:00～21:30

休館日 12/29、1/3

※利用申し込みは玖島市民センターまで。
(☎ 74-0505)



4/10(日) 10:00-15:00
グランドオープン

玖島のホームページが
できました

オープニングイベント&セレモニー開催!

野菜市、カフェの営業に加え、ドローンの操縦体験、グランドゴルフ体験など、この日ならではの催しもご用意しています。ぜひ、みなさんでお越しください。

※コロナウイルス感染状況によっては変更になる場合もあります。

「玖島花咲く館」の情報はもちろんのこと、地域のできごとや玖島の歴史、コミュニティの活動をタイムリーに伝えます!

ホームページ
はこちら



ホームページ、始めます。

今回、佐伯地域・吉和地域の地域支援員でホームページを作成しました。ご自身が持ちのスマートフォンなどでQRコードを読み取ると、見ることが出来ます。ぜひご覧ください！

目的

佐伯地域・吉和地域の『今』を、すぐに届けることが出来ます。現在、フェイスブックを運用して情報発信をしていますが、興味を持ってくれるような方法でアピールするには、ホームページと合わせて情報発信することが必要になってきます。

作成をするに当たって、それぞれの地域支援員の得意分野を活かすために、ホームページ全体のデザイン構成を担当する「デザインチーム」、ホームページ内部の仕組みを準備する「技術チーム」に分かれて作業をしました。

デザインチームから一言
(松本・深瀬・義志・土橋)

一番見てほしいページは、各地域支援員の紹介のページです。メンバー一人一人が、今までどんなことをしていたのか、これから地域の人たちと

つながり、一緒になってどんなことをしていきたいと考えているかなどを知っていたいただきたいです。

佐伯地域・吉和地域の雰囲気と、やわらかさ、あたたかさを感じられるデザイン、配色になるよう工夫しています。

技術チームから一言
(中井・中山・西本)

ホームページ作成に当たっては、初めて使うソフトで、慣れない作業ばかりで大変でしたが、なんとか3人で作業することができました。

仕様書どおりにいかない所も多々ありましたが、デザインチームと連携して納得のいくものが作れたと思います。

最後に

4月22日には公開予定です。佐伯地域・吉和地域のイベント情報や地域支援員が行っている業務の紹介などを更新する予定です。

(西本 智詞)

ホームページのQRコードはこちら！



下宿提供者を募集しています

佐伯高校には、全国でもめずらしい女子硬式野球部や、オリンピック選手を輩出する強豪のアーチェリー部があります。

部活を目的とした生徒が、市外や県外からも入学してきます。

喜ばしいことに、令和4年度、佐伯高校の門をくぐる新入生の数は、前年度と比べてかなり増え、今ある下宿は、遠方から入学してくれる生徒でいっぱいになりそうです。

来年度に向け、佐伯高校生のために下宿を提供してくださる方を、新たに募集しています。

また、下宿はできないけど、ごはんを作ることはできる。空き家を下宿やアパートとして提供することはできる。といった支援者も募集しています。

夏頃には、下宿についての説明会なども、行ないたいと考えています。

来年度、佐伯高校生のための下宿支援を、ぜひご検討ください。



総合的な探究の時間 佐伯高校の「さえき学」



佐伯高校には「さえき学」という、とてもおもしろい授業があります。

生徒一人ひとりが地域の課題を考えて調査をし、それをもとに考えた解決案を、実際に実行していくのです。

2月9日、さえき学のまとめである「さえき学総会」がオンラインで開催されました。

個人発表・チーム発表合わせて9チームが、一年を通して探究したそれぞれの課題と取り組みについて、その過程や結果、経験から得た気づきや反省点などを発表しました。

あるチームは、毎年、学校でカメムシの大量発生に悩まされていることに着目しました。カメムシについて詳しく調べ、試作と実行を繰り返し、今ではカメムシ捕獲器の「3号」が学校の各教室に設置されています。彼らの気づきのひとつは「二人でやるより、大勢でやった方がうまくいった」というものでした。

地域活性化をテーマにしたチームは、やりたいことをなかなか形にできず、何度もモチベーションが下がる経験をしました。自分たちがやりたいことが、本当に地域の人に求められているのか？という疑問を

持ち、今までの考えを一旦置き、地域のイベントでアンケートを行いました。それを元に、地域の困りごとに寄り添ったイベントを企画・実施することができました。この活動を通して、告知の仕方や、天候を考慮した代替え案をもっておく、などの具体的な課題も発見しました。

ほかにも、農業を若者に広げたいチーム、学校のPR動画を作成したチーム、害獣を殺さずに被害をおさえたいチーム、川をきれいにしたいチーム、地域のハーブでお茶をつくったチーム、自分たちで一から設計し、組み立て式のピザ釜を作ったチームが、それぞれの課題に取り組んだからこそ知ることができた、問題点や気づき、成果などを発表しました。

活動の継続を視野に入れているチームが多く、今後の地域との関わりにも期待がもたれます。

4月から、この「さえき学」は名前も新たに「SAEKIQUEST(さえきクエスト)」となり、バージョンアップします。

高校生のうちに社会に出てからの経験と必要とされる人間力を学べるSAEKIQUESTは、佐伯高校の大きな魅力のひとつと言えるでしょう！

(松本 美由紀)



オンライン発表の様子 さよし キュン to 山

《地域の方々と同じ目線で》

一月より、吉和地域活性化担当になりました。土橋 君枝(ごばし)きみえです。出身は広島市南区で、大阪で結婚し、主人の仕事の関係で吉和に來させていただき、もう、十九年になります。一昨年より、吉和市民センターでお世話になり、少しですが行政の仕事に携わり、地域の事に無関心ではいけないと思うようになり地域支援員になりました。吉和の方々には、本当に可愛がっていただき、よくしていただいています。少しでも恩返しできるように頑張ります。

…職務内容…

① 地域資源を活かした事業の企画・実施・サポート

「コロナが収まるまでは、難しいですが、まず、地域内の全員が参加でき、楽しめることをやっていき、数年後には地域外に発信することで、地域内外の交流を推進できる事業にしたいと思います。」

令和五年には複合施設ができます。地域の方と一緒にやりたいことやアイデア等、意見を出し合いながら、吉和の方が自慢できる施設を

つくっていただければ、うれしいなと思います。

② 地域自治組織を中心とした住民支援

空き家問題や移住の推進、福祉や防災のことなど、やるべきこと。やらなければならないこと。たくさんありますが、ひとつひとつ真摯に向き合い対応していきたいです。意見や考えを聞き、行政に伝えパイプ役になれるように頑張っていきたいと思います。

③ 地域のPO活動

四季の美しさ、川のせせらぎ、葉が揺れる音。とても心地よく癒やされます。画像では伝えられない、自然の音や雰囲気をもどるように発信できるか？足をはこんでもらい感じてもらうには、どうしたらよいのか？地域の皆さんと考えていこうと思います。



向原住宅ワークショップに参加

令和3年度当初から住宅政策課が主催した、リノベーションワークショップに参加しました。場所は浅原にある市営向原住宅の一室です。一つの部屋をリノベーションしていくために、たくさんの方の専門家の、出席者に参加いただき、みなさんの思いが詰まった場所になりました。



また、リノベーションが進行中のこの部屋をVRで再現しました。実際にVRコードを読み込ませることで体験できます。そごう広島店にて、開催された「さとやまマルシェ」にVR体験コーナーを設置しました。詳細は次号にてお伝えします！

4月以降、リノベーションされた部屋に新しい入居者の方が決まり、浅原に新しい住民の方が居住される予定です！

(中井皓一、西本智詞)



VR体験はこちら！



「よしわコマルシェ開催」

2021年12月19日にめがひらスキー場の敷地内で「よしわコマルシェ」を開催しました。

吉和地域でにぎわいや交流の場づくりを行い、吉和のPOや地域外の事業者さんと繋がっていくために第1回目としてよしわ「コマルシェ」を開催しました。

News & Infomation

今回は、こんちゃんちさん・木工房三浦さん・ZPO法人吉和げんき村さん・RIE-FARMさんが出店され、飲食・販売・体験などに分かれイベントを行いました。めがひらスキー場にいられている方をターゲットにして各事業者さんが力を合わせイベントを盛り上げました。今回は、冬イベントでしたが、今後はいろいろな季節、場所で行って行きたいと思っています。

(深瀬 憲司)



「次世代へ農地をつなぐ取り組み」

次世代に農地をつなぐための取り組みの一環として、遊休農地での『マコモタケ』の試験栽培実施に向けて、地域の農業者と調整をしています。

『マコモタケ』とは水田で育つ稲の仲間中華料理では高級食材として知られています。

ます。柔らかいタケノコのような食感と癖がなくほのかな甘み特徴で、サラダから煮物・揚げ物まで幅広い料理に使われています。

広島県内では知名度がないため、聞き慣れない名前だと思えますが、耕作放棄地対策として『マコモタケ』を育てている地域もあります。

地域支援員として『マコモタケ』の試験栽培に携わり、農地を次世代へつないでいく一つの方法を提案すること、農業を通じて地域貢献を目指してまいります。

(中山 理公)

編集後記

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が流行し、積極的に外に出ることもできず、日々悶々と過ごすことが多くなりました。その中で、ホームページを作成したり、今しかできない事に注力して活動をしています。

今号は玖島地域、佐伯高校の特集記事を組みんでいます。次号以降も他の地域支援員の活動を紹介する予定です。

また、1月より、吉和地域担当の土橋さんも加わり、総勢7名で佐伯地域・吉和地域を盛り上げてまいります！(西本 智詞)

さよし キュンto山